

# START

花祭り  
 ピースご飯  
 蹄の西京焼き  
 付) ふきの煮物・花人参  
 菜の花の白和え  
 すまし汁  
 さくらゼリー  
 特別養護老人ホーム シエル名島  
 令和2年4月8日 花祭り



四月の行事食は花祭りに合わせて、ピースご飯やすまし汁などをご用意いたしました。お品書きを持って皆さんのお元気な姿を写しました。

行事委員 大場 崇弘



令和2年5月号  
 社会福祉法人 晃和会  
 〒813-0043  
 福岡市東区名島3丁目52番5号  
 TEL 092-673-1800  
 FAX 092-673-2626



## デイサービスセンター名島



いつもご覧いただきありがとうございます。コロナウイルスの影響によるデイサービスの運営制限により皆様には多大なご迷惑、ご心配をお掛け致しております。暗い話題が多い昨今の情勢ですし、外出自粛ムードの真ただ中ではありますが、少しでも明るい話題を提供できればと思っております。

さて、本日ご紹介させて頂くのは最近よく耳にするウイルス治療薬”アピガン”についてお話ししていきたいと思えます。今回新治療薬として期待されているアピガン(正式名：ファビピラビル)の治験で、初期の段階であれば50歳以下までの方に投与で90%、70歳以上の方の投与で70%のウイルス対効果が見込めるとの発表が、国内の医学会より発表がありました。このアピガンは、体内で増殖を起こそうとするウイルスの増殖力を遮断できる能力を有しており、以前インフルエンザが蔓延した際に登場した”タミフル”よりもかなりの薬効が期待できる新薬であります。(ちなみに、タミフルはインフルエンザウイルスを細胞膜で覆い活動させなくするような薬に対して、アピガンはウイルス活動そのものを遮断する薬)※タミフルは2017年に薬としては薬効が薄く格下げ扱い(補助医薬品)を受けています。

ではなぜ、そんな万能そうな新薬を使わなかったのか?..実はこのアピガン、新型インフルエンザウイルスやマダニが媒介するウイルスに対して非常に効果的な一方で、副作用の反動が大きく常用に適さないとの見解から、政府より緊急時のみ利用承認する新薬だったのです。故に、薬効は優れているものの副作用のリスクがあるものだそうです。なので慎重に効果を見極め現在一般向けに改良されているというのが、今の現状だそうです。今回は新薬についてのお話でした

担当 石川 俊行



**お誕生日 おめでとうございます！**

**これからの一年が素敵な日々になりますように☆**

行事委員 大場 崇弘

## 地域の支援者

少子化や核家族化によって地域のつながりが薄れる中、高齢者や障害のある方子育てや介護をしている方などが、周囲に相談できず孤立してしまうケースが増えています。そこで地域の身近な相談相手として、必要な支援を行うのが「民生委員・児童委員」の存在です。

民生委員は民生委員法に規定され、地域社会に根ざした無給の相談援助職です。任期は3年で、都道府県知事の推薦を受け厚生労働大臣が委嘱します。市町村の福祉事務所などと連携しながら活動します。民生委員は児童福祉法の規定で児童委員を兼ねており、地域の子供の健全育成にかかわる行事や児童相談所との連携し、虐待通告の仲介等子供とその親の相談援助を担っています。

民生委員兼児童委員の援助に高齢者や障害者への支援、生活保護など主に大人を対象としたものが多くを占める実情の中で、子育て支援や虐待対応など子供の福祉を主に担う人的資源確保の要請から、主任児童委員が1994年に創設されました。児童委員の中から厚生労働大臣が指名し委嘱します。民生委員は戦前の方面委員制度が前身で歴史が長いですが、現代の福祉行政の市町村主体・権限移譲の中で、地域福祉の最前線の担い手としてその役割が以前にも増して期待されています。



機能訓練指導員 阿部 敏文